



「まちづくり」という医療戦略

～あなたと築く健やかな地域と未来～

これからの医療で求められることは、病気になる前にならないこと（予防）です。しかし、現代医療の仕組みでは、まだその仕組みが整っていないのが現状です。この仕組みづくりには、住民や様々なジャンルの機関、地域との協同が必要不可欠です。

そこで今回は、洞爺湖で地域医療に携わっている會田誠医師に地域医療とまちづくりについてお話いただき、第二部では、地域医療をテーマに毎回好評なワールドカフェ形式のディスカッションを行い、これからの地域医療の未来について、お互いの意見交換・情報共有を行い、新たな方法を模索します。

【日時】 2019年 6月22日(土) 14:00～18:00 ※開場 13:30

第一部 14:00～ 會田 誠医師 講演会 「未来の医療はまちづくりから始まる」

第二部 16:00～ ワールドカフェ ※ワールドカフェについては裏面をご覧ください

【会場】 札幌市生涯学習センター ちえりあ2F 大研修室

札幌市西区宮の沢1条1-1-10 (地下鉄：東西線「宮の沢駅」直結、駐車場：西友 宮の沢店駐車場と共用)

【会費】 北海道支部会員：1000円 一般：2000円

お問合せ

TEL：011-616-3228

MAIL：tougouiryuu.hokkaido@gmail.com

ご参加はHP (QRコード) 又は、お電話、
メールにてお申込みください。



主催：日本統合医療学会北海道支部

後援：札幌市

※詳細は裏面をご覧ください。

今回のテーマ

今、医療に限らず社会に必要とされているのは、病気になる前の段階のケアです。現在の医療システムは、病気になってからの治療が中心となっていて、病気になる前の段階、健康に生きるための一次予防（健康増進）のケアという仕組みはまだまだ整っていないのが現状です。

病院を受診する前の段階での介入は現状の医療の枠組みでは難しく、新しい仕組みを構築する必要があります。これから必要なのは、医療機関に限らず、住民・自治体・市町村・様々なジャンルの機関が協同して、その仕組みを作っていくことです。

すでに徳島県上勝町は、「落葉ビジネス」で高齢者の寝たきりを大幅に減少させています。これは、日本料理を彩る「つまもの」を出荷する仕事に地元の高齢者を巻き込むことで健康的にも、経済的にも活性化することを実現した「産業福祉」のモデルです。

地域の特性を活かすことで生まれる健康的・経済的活性化が全国の様々な取り組みによって始まっています。今回は医療職に限らず、様々なジャンルの方たちとも、北海道・道内の各地域の特性を活かし健康的な生活を送れるような環境をどの様に築いていくのかを考えていきたいと思います。

一次予防(健康増進)は、医療だけでなく、地域を構成する皆さんの様々な活動が協同し紡ぎ出されるものです。その活動を支え「健康なまちづくり」の実現を支援する事が、統合医療の社会モデルだと考えています。

講演者プロフィール

會田 誠

医療法人社団 洞仁会 洞爺温泉病院 循環器内科医師、株式会社ウェルモ 医師・アドバイザー、日本統合医療学会北海道支部 評議員。函館ラ・サール高校から東北大学理学部へと進学するも将来に希望を抱けず海外放浪へ。その選択で悩みを克服した頃、高校・大学と共に歩み日本に残った親友の訃報を受ける。彼のように医療機関を受診する前の段階で悩み苦しむ人を助けたいと自治医科大学入学し医師へ。しかし医療現場を知るほど、非受診住民に対する介入は困難である事を痛感。そんな中、産業から寝たきりを激減させた徳島県上勝町の「産業福祉」に強く感銘。従来の医療主導ではなく、福祉・介護を主役とし医療がそれを支える側に回る事で非受診住民にも介入できる仕組み作りを提案し活動している。

ワールドカフェ

ワールド・カフェとは、その名の通り『カフェ』のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数（3人～6人程度）に分かれた各グループで自由な対話を行います。他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより参加した全員の意見や知識が集まり交流が深まります。新たな見解や様々な意見共有ができる貴重な機会として毎回好評をいただいています。今回は、講演のテーマになる統合医療が地域とどのような仕組みづくりをしていくかをみなさんと考えていきたいと思います。



会場・アクセスについて

会場：札幌市生涯学習センターちえりあ 2F大研修室
札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10

- ◆ 地下鉄：東西線「宮の沢駅」直結
駐車場：西友 宮の沢店駐車場と共用

※日本統合医療学会北海道支部は、定期勉強会・講演会・体験型ワークショップなどの様々な活動を行っております。活動詳細は北海道支部HPをご覧ください。